



東京2020聖火リレー × 教育プログラム

聖火や聖火リレーについて学んでみよう！

取組内容レポート

Vol.5 福岡県立北九州視覚特別支援学校



学校区分

特別支援学校

参加学年・参加人数

中学部2年・4名

教科名

体育・保健

概要

- ・東京2020の配布する指導案や資料を活用して、聖火リレーに係る授業を実施
- ・聖火リレーに係る授業の導入では、東京2020教育プログラムの動画を活用
- ・興味関心を高めるために、配布された授業用参考資料を提示しながら授業を実施し、聖火リレークイズも併せて活用
- ・授業者が、東京2020オリンピック聖火ランナーに応募していることを伝え、オリンピックやパラリンピックがより身近なものに感じるように工夫
- ・視覚に障がいがあることによって、スポーツへの参加が難しいと思っている生徒に対して、単に出場することだけが参加することではないことを周知
- ・東京2020パラリンピック聖火リレーのコンセプトについては、特に強調してその意味について説明

成果（児童・生徒の感想等）

導入前に聖火リレークイズを行った際、全員がすべての問題に答えることができなかった。つまり、オリンピック・パラリンピックについて全く知らないことが分かった。このことは、保健の授業だけでなく、普段の体育授業での話を工夫することで、解消できた。具体的な成果は、以下の3点である。1点目は、オリンピックやパラリンピックは、スポーツだけの祭典ではないことを知ること。2点目は、「支えあう心」「認め合う心」「高めあう心」を、選手を応援することでも体感できることを知ること。3点目は、「平和」の祭典であることから、特に日本では戦争や自然災害からの復興の意味も込められていることを知ること。以上の成果に加え、生徒の感想には、今後、オリンピック・パラリンピックに興味をもって、頑張る選手を応援することや、授業内容を自分のスポーツ活動に役立てる等があがった。

写真等



弱視生徒が、モニターの文字をタブレット端末を通して拡大し、内容の確認をしている場面



「Share Your Light」全員に対して、あなたたちは、必ず誰かの希望であることを強調して話している場面



授業で行った内容（聖火リレークイズ）のフィードバックをしている場面
「書見台」という机を利用して正しい姿勢で資料を見ている場面